



施設職員 5 万人への検査実施を明らかにさせた、みわ由美県議（2/10 一般質問）

# PCR検査 一步前進

## 高齢者・障害者入所施設職員 5 万人 (約 1000 施設)

### 共産党は、県民と一緒に 検査をくり返し求めてきました

千葉県は、新型コロナウイルス感染時、重症化、施設内感染のリスクが高い高齢者・障害者入所施設で働く職員に対して PCR 検査（唾液）を実施するため、2 月補正予算に 6 億 8 千万円を計上しました。

県の資料によれば、県内でのクラスター（集団感染）発生は 140 件（昨年 2 月～今年 1 月 19 日）で、このうち高齢者施設は 42 件（30%）となっています。その後の県の説明では、高齢者施設でのクラスターは増え続け、1 月中だけでも 32 施設（837 人）となっています。

日本共産党は、感染拡大を抑えるため、これまでの感染者を中心とする検査から、無症状の感染者を確認・保護する定期的な社会的検査の実施をくり返し迫り、同様に、市民団体、医療関係者等も検査の拡充を求めてきました。今回、県が高齢者・障害者入所施設の職員の検査に踏み切ったことは、共産党と県民運動のとりくみの成果です。一步前進させました。

2 月県議会で、みわ由美県議は、医療機関、高齢者・児童福祉施設の従事者への定期的検査（月 1 回 × 6 回分）の費用として 28 億円の予算組み替えを提案しています。

対象地域：感染多数地域（東葛地域・印旛地域） \*状況をふまえて地域の拡大を検討  
各地域で、「対象地域」にするよう県に働きかけをつよめましょう！  
保健所設置市（千葉市、船橋市、柏市）は、県の対象から除かれます  
実施期間：3 月 3 日から 3 月 31 日（1 回）

## 感染爆発地域での網羅的な検査

### 「法的に可能」…県答弁を引き出しました

「無症状の感染者は感染を拡げるのではないかと、加藤英雄県議は 17 日の予算委員会で県の認識を質し、県も否定できませんでした。

広島市などのとりくみを紹介し、千葉県でも、感染者が急増している地域で網羅的な検査（面の検査）を実施し、無症状感染者をつかむ必要がある、と指摘。そのための検査方針を確立するよう県に求めました。

「国の通知に基づいて検査する」などと、逃げ腰の県に対して、「面の検査はやってはだめだという、法的縛りはあるのか」と詰め寄り、県はしぶしぶ「（面の検査）法的に可能」と答えました。県がその気にさえなれば、地域全体での「面の検査」はできるということです。「第 4 波」を食い止めるためにも、さらに検査を思い切って拡げることが重要です。



加藤英雄県議（2/17 予算委）